

令和6年度 決算の状況について

- ◆令和6年度一般会計の実質収支は、昨年度から4.7億円増加し16.8億円
- ◆予算対比での実質収支の主な要因は、地方交付税の増（+2.6億円）や特別会計への繰出金の減（▲1.0億円）など
- ◆実質収支16.8億円は、今後の財政需要に対応するとともに、将来の財政負担を見据えた基金への積立てなどに活用

<<決算の概要>>

(単位：千円)

年度	①歳入	②歳出	③形式収支 (①－②)	④繰越すべき財 源	⑤実質収支 (③－④)	⑥単年度収支 (前年度実質収支との差額)
R06	23,947,550	21,981,098	1,966,452	284,545	1,681,907	468,115
R05	21,848,064	20,297,658	1,550,406	336,614	1,213,792	▲196,204
R04	21,541,884	19,715,448	1,826,436	416,440	1,409,996	▲393,825

(実質収支の主な要因) ※予算対比（一般財源ベース）

歳入	市税の増	1.9億円
	地方交付税の増（特別交付税）	2.6億円
	譲与税・交付金等の増	0.9億円
歳出	特別会計繰出金の減	1.0億円
	新川広域圏分担金の減	0.5億円
	除排雪費の減	0.5億円

実質収支16.8億円のうち6.2億円（基金への積立て3.0億円含む）を前年度繰越金として令和7年度歳入予算に計上済

(参考) 基金年度末残高の推移 ※土地開発基金・特別会計基金は除く

(単位：千円)

年度	基金残高	うち公共施設整備基金残高 (R8年度末目標額20億円)	うち財政調整基金残高
R06	5,079,537	2,080,996	1,213,714
R05	4,629,163	1,763,905	1,262,437
R04	4,055,758	1,286,883	1,062,416